

# TOREK 自然農法 ホットニュース

第 186 号 2013. 10. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## 素材のうま味わかる頒布会！

10月14日、東中野頒布会に行ってきました。朝からよいお天気で、オープン30分前から待っている人もいました。入り口ではおなじみのフライドスイートポテト、糍ドリンクの販売がありました。

店内にはサツマイモや秋ナスなど旬の野菜がいろいろ。駅前でもチラシをもらって来てみたという人や、スイートポテトを試食して入ってくる人、外国の方も数人見かけました。試食で、シンプルにゆでただけの野沢菜や、焼いただけのナスやカボチャを味わうと、素材そのもののうま味がわかり、ついあれもこれもと購入してしまいました。

いつも二階でお昼ごはんを食べるのですが、今回のおにぎりのお米は、20代の青年がおばあちゃんから引き継いだ、自然農法を33年続けている田んぼでとれたものだそうです。私は自然卵をかけていただきました。最高においしく、すーっと体に入っていき感じがしました。お味噌汁もやさしい味で、とても癒されます。次回の東中野頒布会は12月15日ですが、10月27日に中野セントラルパークで行われる「自然栽培フェア」にも出店するそうで、こちら楽しみです。(編集部:田村)



田力本願

## 自然農法 稲作地の訪問！ 自然農法普及員 野中康次

今年の春、私は自然農法活動の壁に突き当たり、生産者の堀さんに相談しました。色々お話しいただきましたが、最後に「色々あるけど、何だかんだ自然農法発展しているよ」という言葉で、心に光が差したように感じました。そして今回、9/10~9/14に、稲刈り間近の生産者訪問に行きました。お陰様で生産者も増えてきています。

●9/10、宮城県は「田力本願」の菅原さんに訪問しました。「今年、株周りにヒエが残り、特に苗代の田はヒエが稲より大きくなり、稲を倒す予想です。全体的に刈り取り時は、コンバインのドウにヒエの茎が入り込み、米

が出てしまいロスになるので、収量予想は昨年より劣る感じがします。広さゆえに、機械的、作業的にこなすようになっていく感じがします。しかし、TOREKの皆様から注文いただくときが何より一番うれしい。常に電話に出られるようにし、即日発送に心掛けています。本当に感謝しています」。菅原さんより稲株をお預かりし、11/3と11/17の農産展の参加予定を確認しました。

●9/11、石川県は、よしたい農園の森さんに訪問。今年、大雨と冷えがあった中、森さんの田は順調でした。特に農林22号は良く、しわもち、朝日も良いです。良くないと言っていた梨畑横の無施肥苗の22号は反3俵ぐらいの予想とのこと。「この2~3年で、代掻きの重要性和初期除草の大切さを実感している」また「先日、新潟で糍屋さんと食に関する集まりに出席し、無施肥の栽培について数十名の前で体験話をしました」農協の青壮年部の仲間に、子どもたち家族には無施肥無農薬の米食べさせたいよねと話すと、どうやって作ればいいのかと言われ、今年1枚始めた人がいます」と北陸での活動をお聞きしました。頒布会と11/17農産展の参加予定を確認しました。

●同じく9/11、石川の山下さんに訪問。風水害は「この地域は特に出ていません。農林22号順調ですが、昨年よりやや劣るのではと思います。昨年よりコシヒカリも分けつが少なく見えました」「今年苗作りの失敗で、22号は森さんより自然苗を分けてもらえたので、苗から無施肥無農薬栽培ですが、コシヒカリは有機苗を使い、本田無施肥です」。森さんという無施肥無農薬の仲間が近くにいて良かったと思いました。そして11月に結婚することが決まり、続けられるか分からなかったのですが、来年も2枚の無施肥無農薬の田は継続することになりました。11/3農産展への参加を確認しました。

●9/12、福井県は池田町の富田さんに訪問。森さんも午後から合流して色々お話しできました。農林48号、赤もちは順調。標高高く、水はきれい、空気や土壌汚染が少ない池田町ですが、水や気温

の温度が低いのが難しい。7月TOREKメンバーで除草をお手伝いした亀の尾は白穂が出てきている、イモチ病が心配。22号は不稔が出はじめています。ここ最近低温が続き、ロスが増え、収穫に影響しないか心配しています。稲刈りの様子次第で11/3と11/17農産展に参加予定を確認しました。

●9/13、栃木の五十嵐さんに訪問。何よりきれい、手が行き届いています。風水害は受けていません。夏の雨が降らず困っていたところ、雨が降ったとのこと。株間、分けつは良いが、穂があまり長くない。しかし粒は大きめな気がしました。周りの田んぼが今年は倒れが少ない。五十嵐さんの影響で肥料を少なくしたという周りの人たちは、「肥料減らすなんて初めてのことです」。また頒布会があるので、緊張感と励みになっている。東京オリンピックが決まり、選手村に自然農法の作物を振舞いたいという夢が飛び出し、できると良いと話し合いました。



五十嵐さん

●同じく9/13、群馬の小林さんに訪問。長年の自然農法の夢がスタートしました。商店街の家の裏が田んぼで、田んぼどこだろうと思うほど分からなかった。5枚棚田があり、隣もその隣も同じように棚田が続く。面白みと不思議さを感じた。小林さんは田をとても愛してかわいがっている様子。今年は思い通り手がかけられなかった中の草を残念がっていました。買い苗から始め、田植え、除草と携わってきた。バインダー刈り、ハザ掛け、ハーベスターで脱穀、自家用モミすり機の予定です。

●9/14、長野さじま平の堀さんに訪問。風水害は受けていません。コシヒカリとミスズモチは少し落ちるかなという感じ、しかし農林48号(蒼龍)はずばらしい成長を見せている。分けつ多く実つきも良い。特に副穂(根元1本から茎が分かれて2本になり、穂が2個になる)と穂の長さもすごいものがある。また「我々は方法ではなく、その先にある、土に力があることを普及したい」など熱くお話しいただきました。48号も1枚増え、2枚の田を稲刈り、ハザ掛け、一緒にやりましょうと確認しました。

他に熊本の渡辺さんの菊池村や兵庫の火の田農園の畑さん、新潟の飯塚さん、千葉等あります。我々消費者が自然米を食べることで、生産現場への応援となり、生産者の生産意欲になっていました。生産者は無施肥無農薬のお米を作ることで、みなさんに自然米を食べていただき、自然農法を理解していただき、自然農法普及に繋がっていることを、今年特に感じる事ができました。

皆様どうぞ、色々選べる自然米を楽しんで、しっかり食べていただきたいと思います。



## 抗がん剤治療中の食欲！

千葉県 岡野明美

8月中旬のことです。抗がん剤治療中の友人が、3日間くらい食事がとれなくて、水さえも吐いてしまうとのこと心配になり、自然卵をゆで卵にしてお持ちしました。ゆで卵は消化に良くないと知ってはいますが、自然そのものの素材なら口に入るかと思ってお渡しすると、卵半分を「おいしい」とぺろっと食べ、「もう半分も食べてみたら」と言うと、「そう…?」と言って、そのまま口に入れました。

翌日また何うと、友人は卵を食べたあとと吐くこともなく、よく眠れたとのこと。しかもそれを機に、吐き気はあるものの食事をとれるようになり、しかも吐かない、と喜んでいました。自然農法のすばらしさを改めて実感しました。

## お知らせ

- ★ 自然農法勉強会 10月29日(火) 午前の部 10:30~ / 午後の部 19:00~ (別院講堂)
- ★ 自然栽培フェア 10月27日(日) 中野セントラルパーク 10:00~16:00
- ★ 自然農法農産展 11月3日(祝) 展示 / 11月17日(日) 販売
- ★ 自然農法頒布会 11月21日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売り切れ次第終了)

※ さじま平自然農産の「さじま弁当」は、販売を終了しました。長い間のご愛顧ありがとうございました。

## 無施肥無農薬栽培物の販売予定

11月3日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 長柄山自然農園 : 卵、丸鶏
- さじま平自然農産 : 黒小豆、小豆、春菊、納豆、本露金時
- 市川生産グループ : 煎茶、ほうじ茶
- 菜園金野 : 大根、生姜、サツマイモ、里芋、カブ、京菜
- 中島農園 : コマツナ、チンゲンサイ、ホウレンソウ、ジャガイモ、ネギ、梅干
- ジョリフィユ : イチゴのロールケーキ、カスタードプリン、ほうじ茶プリン、マドレーヌ ほか

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: [naturefarming@torek.jp](mailto:naturefarming@torek.jp)  
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>

